

がん予防日本一を目指そう！



大会宣言 (抜粋)

- 国民病といわれるがんについて正しい知識をもちましょう。
- 検診で助かるいのちがあります。進んでがん検診を受けましょう
- がんになってもみんなで理解し支えあう武雄市をつくりましょう。

必見!

20歳以上の女性の方へ

子宮頸がん個別検診が市内の医療機関で受診できます!

市内の産婦人科(清水医院・武雄レディースクリニック・宮川産婦人科・八木産婦人科)で個別検診を平成22年3月31日まで実施しています。検診がお済みでない方は、ご利用ください。

受診方法と流れ

市役所へ電話で申し込む

市で行う検診は2年に1回隔年受診となりますので、昨年の受診歴を確認します。

医療機関へ予約を入れる

(受診日を決める)

受診(健康保険証・料金600円持参)

結果送付(3~4週間)

※受診したい日の1週間前までに健康課へ電話してください。

無料クーポン券の利用はお済みですか?

平成21年4月1日現在で、子宮頸がん検診は20・25・30・35・40歳へ、乳がん検診は40・45・50・55・60歳の方へ送付しています。

集団検診又は個別検診をお申し込みいただき、平成22年2月28日までにご使用ください。

※手術をされた方や医療機関において経過観察中の方は主治医による検診を優先してください。

700人が集まった「がん撲滅推進市民大会」
11月3日(祝)の「がん撲滅推進市民大会」には約700名の参加があり、基調講演の後、「2人に1人の国民病「がん」を考える」と題してパネルディスカッションがありました。「がんに対する考えが変わった」「がんを隠そうとしがちであったが、身近な病気であることがわかった」など、様々な感想を寄せていただきました。最後に「がん予防日本一を目指そう」と実行委員会の代表による大会宣言を行いました。

- 知っていますか? 「がん」のあれこれ
東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部長の中川忠一先生の「がんを知らなきゃソン」と題しての基調講演から一部を紹介しましょう。
- アメリカはがんで亡くなる人が減っているが、日本は増えている。それは、がん検診を受けないせいである。
- がんは例外を除き遺伝しない。(遺伝は約5%) 「がんになる、ならない」は生活習慣と連動する。
- 早期がんで見えるのは1~2センチのうちに。(乳がんが1センチの大きさになるには約15年、2センチになるには1~2年だから)
- 大腸がん、子宮頸がん、乳がんは検診で見つけやすいがんである。
- ぜひ、検診を受けましょう。

さあ! これからが本番!

- ◎ この大会を機会に武雄市はがん予防日本一を目指していきます。
 - ◎ がん予防推進協議会(仮)の発足
 - ◎ がん予防推進員や患者会の活動推進
 - ◎ がんについての学習の機会を増やす
 - ◎ がん検診の受診率向上
 - ◎ がんになっても支えあうまちづくり
- これからがスタートです。



同 くらし部健康課
☎(23)9215 担当:永淵